

第1グループ（環境）

まえがき

都市の豊かな緑と大きな樹木はその地域の歴史と風格を表しています。まちの緑と草花は「我がまちをきれいな潤いのあるまちにしたい」という生活者の気持ちの表われで、長年に亘る努力の賜物です。

千里ニュータウンの最大の財産は40年間積み上げてきたこの豊かな緑であり、樹木は一朝一夕には育ちません。美しく清潔な魅力あるまちには人が集まり繁栄します。

しかしながら、周辺地域の開発が進むにつれて、通過車両が増加し、生活道路にまで及び、生活の安全が脅かされ、住環境の悪化を招いています。また、ゴミのポイ捨てや不法投棄が目立つようになりました。

他の地域と比べて安心して住める街であった千里ニュータウンも犯罪や迷惑行為が増加しています。

千里ニュータウンの開発理念であった「ゆとりある緑豊かで良好な住環境」を基礎に“緑豊かで、みんなが安心して、いつまでも住みたくなる環境のまち”を目指して、生活者の視点から千里ニュータウンの再生に向けてつぎのとおり提言します。

・緑の保全と育成

公園、緑地は減らさず、敷地の緑被率の向上を図り、新たな緑化や修景を推進する。また、公園内の池は親水化する。

街路樹は常緑樹と落葉樹を配植することにより1年を通じて緑を確保し、不必要な枝切りをしない。道路舗装には透水タイプを採用し、路盤下に雨水を確保し街路樹を守る。

・大気汚染や騒音等の公害の防止

千里3号線を東に延伸して山田上 - 小野原線に接続する新設道路の整備が急務であり、災害時の救援道路としても重要である。

生活道路の舗装の更新を透水タイプで急ぎ、タイヤの摩耗粉塵と騒音を軽減する。

千里ニュータウン内に乗入れている路線バス、スクールバス、巡回・送迎バス、ゴミ収集車等の低公害車化を推進する。

騒音を撒き散らす暴走車両の取り締まりを強化する。

千里ニュータウンやその周辺に立地する遺伝子組換え等を実施する研究施設等と安全協定を締結し、第三者によりそれらの施設を十分監視する。

水質保全のために生活排水の水路への流入を防ぐ。

・犯罪や迷惑行為の予防

夜間の防犯のために住区内の街路灯の照度を上げる。
門灯や玄関灯の明るさを確保するように協力し、まち全体を明るくする。
制服警察官の配置や、パトロールを増やす。

・ゴミ問題、省エネルギー対策

ゴミの減量や分別、生ゴミの水分を減らして出すことによるゴミ処理費の節減効果とそれによって確保できた資金が何に生かされたかを住民に周知することにより、更なる住民の協力を得る。

廃棄物減量等推進員による啓発活動を活発にし、学校、職場、地域でゴミ拾いを経験させ、ポイ捨てや不法投棄を抑止する。

住民自身も住居周辺をきれいに保ち、町内の美化に協力する。

千里ニュータウン内の公共施設の屋上にソーラー発電設備を設置して、クリーンエネルギー化推進のモデルとする。

・千里ニュータウンの町名に『千里』をつける

全国的に知名度の高い千里ニュータウンでありながら、吹田市域では町名に『千里』を冠していない。町名を『千里 台』に変えることにより、吹田市域の千里ニュータウンの知名度を上げて活性化に繋げる必要がある。

まとめ - 千里ニュータウンを含む広域行政への道筋 -

地域で何かを変えようとするときは必ず住民が参加し、住民との協働で進めることを盛り込んだ『まちづくり条例』を制定した上で、つぎの方策を順次実施する。

吹田市域のニュータウンにおける『まちづくり協議会』を組織する。

千里ニュータウン全体を管理・運営する住民も参加した『住民協議会』を吹田・豊中両市と大阪府が早期に設立する。

千里ニュータウンを核として吹田・豊中・箕面・茨木市が一体的に行政を運営する。